

取り組み項目	現状、問題点	取り組み内容
多職種との業務分担	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤の受領、検査結果回収、患者搬送等で病棟を離れることが多く、看護業務が中断される。 ・日々の薬剤確認が煩雑で時間を要する。 ・中央材料室との業務協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリスタッフ、看護補助者の患者移送協力 ・中材スタッフの物品配布 ・薬剤師による注射薬点検開始 ・病棟の一次洗浄・消毒の省力、廃止
看護補助者の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝、夕方のケア繁忙時、配茶・配膳に看護師がまわれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者の早出・遅出勤務配置 ・時間差勤務者の採用
事務作業補助者の配置 (病棟クラーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・定時処方箋、検査伝票の整理、加算要件書類の整備、更新等が煩雑。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置の継続
看護職員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休、子育て中の職員が常時一定数あり代替の確保が必要 ・離職防止 : 個々の事情に応じた勤務配慮 夜勤回数 短時間勤務 育児支援体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年の求人活動 看護・介護求人学校訪問 ハローワーク求人 紹介業者 ・夜勤専従看護師の採用 R5~6名採用 今後2名採用予定 ・短時間勤務は希望に沿って個別対応(出勤時間、退勤時間その両方等、柔軟に) ・正職員の休日利用出勤 ・夜勤免除の正職員枠の設定
多様な勤務形態の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員の確保が困難 ・夜勤免除の希望が多い(子育て中の職員他) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員の採用 ・働き方希望(勤務時間、日数)への柔軟な対応
業務改善の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時評価項目の増大で一人の入院に多大な時間を要する。 ・記録時間の確保が困難で業務終了後になりがち ・夜間の業務改善、休憩の確保 ・業務の合理化に有効な物品の補給 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容、区分、担当の見直し ・随時記録の指導 ・クリティカルパスの活用 ・遅出職員の勤務時間検討 超過勤務可能者の夜勤応援